

聖書協会共同訳 2017	新共同訳 1987	口語訳 1955	新改訳 1970
12 きょうだいたち、私の身に起こったことが、かえって福音の前進につながったことを、知っていただきたい。	12 兄弟たち、わたしの身に起こったことが、かえって福音の前進に役立ったと知ってほしい。	12 さて、兄弟たちよ。わたしの身に起った事が、むしろ福音の前進に役立つようになったことを、あなたがたに知って	12 さて、兄弟たち。私の身に起こったことが、かえって福音を前進させることになったのを知ってもらいたいと思いま
13 つまり、私が投獄されているのはキリストのためであると、兵営全体と、その他のすべての人に知れ渡り、	13 つまり、わたしが監禁されているのはキリストのためであると、兵営全体、その他のすべての人々に知れ渡り、	13 すなわち、わたしが獄に捕われているのはキリストのためであることが、兵営全体にもそのほかのすべての人々にも明らかになり、	13 私がキリストのゆえに投獄されている、ということは、親衛隊の全員と、そのほかのすべての人にも明らかになり、
14 主にあるきょうだいたちのうち多くの者が、私が投獄されたのを見て確信を得、恐れることなくますます大胆に、御言葉を語るようになったのです。	14 主に結ばれた兄弟たちの中で多くの者が、わたしの捕らわれているのを見て確信を得、恐れることなくますます勇敢に、御言葉を語るようになったのです。	14 そして兄弟たちのうち多くの者は、わたしの入獄によって主にある確信を得、恐れることなく、ますます勇敢に、神の言を語るようになった。	14 また兄弟たちの大多数は、私が投獄されたことにより、主にあつて確信を与えられ、恐れることなく、ますます大胆に神のこばを語るようになりました。
15 キリストを宣べ伝えるのに、妬みと争いの念に駆られてする者もいれば、善意でする者もいます。	15 キリストを宣べ伝えるのに、ねたみと争いの念にかられる者もいれば、善意でする者もいます。	15 一方では、ねたみや闘争心からキリストを宣べ伝える者があり、他方では善意からそうする者がいる。	15 人々の中にはねたみや争いをもってキリストを宣べ伝える者もいますが、善意をもってする者もいます。
16 一方は、私が福音を弁明するために捕らわれているのを知って、愛の動機からそうするのですが、	16 一方は、わたしが福音を弁明するために捕らわれているのを知って、愛の動機からそうするのですが、	16 後者は、わたしが福音を弁明するために立てられていることを知り、愛の心でキリストを伝え、	16 一方の人たちは愛をもってキリストを伝え、私が福音を弁証するために立てられていることを認めています、
17 他方は、利己心により、獄中の私をいっそう苦しめようという不純な動機からキリストを告げ知らせしているのです。	17 他方は、自分の利益を求めて、獄中のわたしをいっそう苦しめようという不純な動機からキリストを告げ知らせしているのです。	17 前者は、わたしの入獄の苦しみに更に患難を加えようと思つて、純真な心からではなく、党派心からそうしている。	17 他の人たちは純真な動機からではなく、党派心をもって、キリストを宣べ伝えており、投獄されている私をさらに苦しめるつもりなのです。
18 だが、それが何であろう。口実であれ、真実であれ、とにかく、キリストが告げ知らされているのですから、私はそれを喜んでます。これからも喜びます。	18 だが、それがなんであろう。口実であれ、真実であれ、とにかく、キリストが告げ知らされているのですから、わたしはそれを喜んでます。これからも喜びます。	18 すると、どうなのか。見えからであるにしても、真実からであるにしても、要するに、伝えられているのはキリストなのだから、わたしはそれを喜んでるし、また喜ぶであろう。	18 すると、どういうことになりますか。つまり、見せかけであろうとも、真実であろうとも、あらゆるしかたで、キリストが宣べ伝えられているのであつて、このことを私は喜んでます。そうです、今からも喜ぶことでしよう。
19 というのは、あなたがたの祈りと、イエス・キリストの霊の支えとによって、このことが私の救いとなることを知っているからです。	19 というのは、あなたがたの祈りと、イエス・キリストの霊の助けとによって、このことがわたしの救いになると知っているからです。	19 なぜなら、あなたがたの祈と、イエス・キリストの霊の助けとによって、この事がついに、わたしの救となることを知っているからである。	19 というわけは、あなたがたの祈りとイエス・キリストの御霊の助けによって、このことが私の救いとなることを私は知っているからです。
20 そこで、私が切に願ひ、望んでいるのは、どんなことがあつても恥じることなく、これまでのように今も堂々と語つて、生きるにも死ぬにも、私の身によってキリストが崇められることです。	20 そして、どんなことにも恥をかかず、これまでのように今も、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストが公然とあがめられるようにと切に願ひ、希望しています。	20 そこで、わたしが切実な思いで待ち望むことは、わたしが、どんなことがあつても恥じることなく、かえって、いつものように今も、大胆に語ることによって、生きるにも死ぬにも、わたしの身によってキリストがあがめられることであ	20 それは、私がどういふばあいにも恥じることなく、いつものように今も大胆に語つて、生きるにしても、死ぬにしても、私の身によって、キリストのすばらしさが現わされることを求める私の切なる願ひと望みになつてはいるのです。
21 私にとって、生きることはキリストであり、死ぬことは益なのです。	21 わたしにとって、生きることはキリストであり、死ぬことは利益なのです。	21 わたしにとっては、生きることはキリストであり、死ぬことは益である。	21 私にとっては、生きることはキリスト、死ぬこともまた益です。
22 けれども、肉において生き続けることで、実りある働きができるのなら、どちらを選んだらよいか、私には分かりません。	22 けれども、肉において生き続けられ、実り多い働きができるのなら、どちらを選ぶべきか、わたしには分かりません。	22 しかし、肉体において生きていることが、わたしにとっては実り多い働きになるのだとすれば、どちらを選んだらよいか、わたしにはわからない。	22 しかし、もしこの肉体のいのちが続くとしたら、私の働きが豊かな実を結ぶことになるので、どちらを選んだらよいか、私にはわかりません。
23 この二つのことの間で、板挟みの状態です。私の切なる願ひは、世を去つて、キリストと共にいることであり、実は、このほうがはるかに望ましい。	23 この二つのことの間で、板挟みの状態です。一方では、この世を去つて、キリストと共にいたいと熱望しており、このほうがはるかに望ましい。	23 わたしは、これら二つのもの間に板ばさみになっている。わたしの願ひを言えば、この世を去つてキリストと共にいることであり、実は、そのほうがはるかに望ましい。	23 私は、その二つのもの間に板ばさみとなっています。私の願ひは、世を去つてキリストとともにいることです。実はそのほうが、はるかにまぎつています。
24 しかし、肉にとどまるほうが、あなたがたのためにはもっと必要です。	24 だが他方では、肉にとどまる方が、あなたがたのためにはもっと必要です。	24 しかし、肉体にとどまっていることは、あなたがたのためには、さらに必要である。	24 しかし、この肉体にとどまるのが、あなたがたのためには、もっと必要です。
25 こう確信しているので、私は世にとどまつて、あなたがたの信仰の前進と喜びのために、あなたがた一同と共にいることになつておもう。	25 こう確信していますから、あなたがたの信仰を深めて喜びをもたらすように、いつもあなたがた一同と共にいることになつておもう。	25 こう確信しているので、わたしは生きながらえて、あなたがた一同のところにどまり、あなたがたの信仰を進ませ、その喜びを得させようと思ふ。	25 私はこのことを確信していますから、あなたがたの信仰の進歩と喜びのために、私が生きながらえて、あなたがたすべてといっしょにいるようになることを知っています。
26 そうなれば、私が再びあなたがたのところに行くとき、キリスト・イエスにあるというあなたがたの誇りが、私ゆえに満ち溢れるでしょう。	26 そうなれば、わたしが再びあなたがたのもとに姿を見せるとき、キリスト・イエスに結ばれているというあなたがたの誇りは、わたしゆえに増し加わることになります。	26 そうなれば、わたしが再びあなたがたのところに行くので、あなたがたはわたしによってキリスト・イエスにある誇を増すことにならう。	26 そうなれば、私はもう一度あなたがたのところに行くので、私のことに関するあなたがたの誇りは、キリスト・イエスにあつて増し加わらうでしょう。

New International Version 1973	New Revised Standard Version 1989	New King James Version 1982	岩波訳1995
12 Now I want you to know, brothers and sisters, that what has happened to me has actually served to advance the gospel.	12 I want you to know, beloved, that what has happened to me has actually helped to spread the gospel,	12 But I want you to know, brethren, that the things which happened to me have actually turned out for the furtherance of the gospel,	12 さて、兄弟たちよ、私はあなたがたが次のことを知っていてほしい、と願っている。すなわち私の身に〔起こった〕ことがらは、むしろ福音の前進のためになって〔今に〕至っている、ということである。
13 As a result, it has become clear throughout the whole palace guard and to everyone else that I am in chains for Christ.	13 so that it has become known throughout the whole imperial guard and to everyone else that my imprisonment is for Christ;	13 so that it has become evident to the whole palace guard, and to all the rest, that my chains are in Christ;	13 かくして私の投獄は、〔ローマ総督ならびにローマ兵たちのいる〕陣営全体および他のすべての人々に、キリストゆえのものとして明らかになり、
14 And because of my chains, most of the brothers and sisters have become confident in the Lord and dare all the more to proclaim the gospel without fear.	14 and most of the brothers and sisters, having been made confident in the Lord by my imprisonment, dare to speak the word with greater boldness and without fear.	14 and most of the brethren in the Lord, having become confident by my chains, are much more bold to speak the word without fear.	14 さらに私の投獄によって確信を与えられた至にある兄弟たちのうちの多数の者は、さらにいっそう、恐れることなく〔神の〕言葉を語ることを取敢てするようになったのである。
15 It is true that some preach Christ out of envy and rivalry, but others out of goodwill.	15 Some proclaim Christ from envy and rivalry, but others from goodwill.	15 Some indeed preach Christ even from envy and strife, and some also from goodwill:	15 一方で、ある者たちは妬みと競争心のゆえに、他方で、ある者たちは善意のゆえに、キリストを宣べ伝える。
16 The latter do so out of love, knowing that I am put here for the defense of the gospel.	16 These proclaim Christ out of love, knowing that I have been put here for the defense of the gospel;	16 The former preach Christ from selfish ambition, not sincerely, supposing to add affliction to my chains;	16 後者は、私が福音の弁明のために〔獄に〕横たわっているのを知りつつ、愛〔の思い〕から、
17 The former preach Christ out of selfish ambition, not sincerely, supposing that they can stir up trouble for me while I am in	17 the others proclaim Christ out of selfish ambition, not sincerely but intending to increase my suffering in my imprisonment.	17 but the latter out of love, knowing that I am appointed for the defense of the gospel.	17 前者は党派心から、純粋にはなく、私の投獄に〔加えて、さらに〕患難を引き起こそうと考えながら、キリストを告げ知らせる。
18 But what does it matter? The important thing is that in every way, whether from false motives or true, Christ is preached. And because of this I rejoice. Yes, and I will continue to rejoice,	18 What does it matter? Just this, that Christ is proclaimed in every way, whether out of false motives or true; and in that I rejoice. Yes, and I will continue to rejoice,	18 What then? Only that in every way, whether in pretense or in truth, Christ is preached; and in this I rejoice, yes, and will rejoice.	18 しかし、それが何であろうか。むしろ、口実によってであれ、真実によってであれ、いずれにしてもキリストが宣べ伝えられるのだから、私はまさにそのことを喜ぶ。然り、これからも喜ぶであろう。
19 for I know that through your prayers and God's provision of the Spirit of Jesus Christ what has happened to me will turn out for my deliverance.	19 for I know that through your prayers and the help of the Spirit of Jesus Christ this will turn out for my deliverance.	19 For I know that this will turn out for my deliverance through your prayer and the supply of the Spirit of Jesus Christ,	19 なぜならば、私はこのことが、あなたがたの祈りとイエス・キリストの霊の助けをとおして、結果として私にとって救いとなるであろう、ということを知っているからである。
20 I eagerly expect and hope that I will in no way be ashamed, but will have sufficient courage so that now as always Christ will be exalted in my body, whether by life or by death.	20 It is my eager expectation and hope that I will not be put to shame in any way, but that by my speaking with all boldness, Christ will be exalted now as always in my body, whether by life or by death.	20 according to my earnest expectation and hope that in nothing I shall be ashamed, but with all boldness, as always, so now also Christ will be magnified in my body, whether by life or by death.	20 私の切なる願いと希望に沿っていることは、私がなにごとにおいても恥を加えられず、むしろいつものように今も、生をとおしてであれ死をとおしてであれ、私の〔この〕からだにおいて、すべての大胆さをもってキリストが賞め讃えられるようになることである。
21 For to me, to live is Christ and to die is gain.	21 For to me, living is Christ and dying is gain.	21 For to me, to live is Christ, and to die is gain.	21 実際、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは〔むしろ〕益である。
22 If I am to go on living in the body, this will mean fruitful labor for me. Yet what shall I choose? I do not know!	22 If I am to live in the flesh, that means fruitful labor for me; and I do not know which I prefer.	22 But if I live on in the flesh, this will mean fruit from my labor; yet what I shall choose I cannot tell.	22 しかし、もしも肉において生きること、そのことが私にとって〔使途としての〕働きの実〔をもたらす〕とするならば、どちらを自分が選ぶことになるのか、私にはわからない。
23 I am torn between the two: I desire to depart and be with Christ, which is better by far;	23 I am hard pressed between the two: my desire is to depart and be with Christ, for that is far better;	23 For I am hard-pressed between the two, having a desire to depart and be with Christ, which is far better.	23 私は二つのものの板ばさみになっている。私は、〔世を〕去って、キリストと共にあることを希求している。〔なぜならば、〕その方がむしろ〔私にとって〕はるかに好ましいからである。
24 but it is more necessary for you that I remain in the body.	24 but to remain in the flesh is more necessary for you.	24 Nevertheless to remain in the flesh is more needful for you.	24 しかし、肉に〔おいて〕留まることは、あなたがたのゆえにより必要なことである。
25 Convinced of this, I know that I will remain, and I will continue with all of you for your progress and joy in the faith,	25 Since I am convinced of this, I know that I will remain and continue with all of you for your progress and joy in faith,	25 And being confident of this, I know that I shall remain and continue with you all for your progress and joy of faith,	25 そして私は、このことを確信しているの、あなたがたの信仰の前進と喜びのために〔肉に〕留まるであろう、〔然り、〕あなたがたすべてと共に留まるであろう、ということを知っている。
26 so that through my being with you again your boasting in Christ Jesus will abound on account of me.	26 so that I may share abundantly in your boasting in Christ Jesus when I come to you again.	26 that your rejoicing for me may be more abundant in Jesus Christ by my coming to you again.	26 それは、あなたがたの誇りが、キリスト・イエスにあって、私によって、〔すなわち〕私が再びあなたがたのところ滞在することをとおして、満ち溢れるためである。